

奥州市舗装維持管理計画



令和4年3月

目次

I 道路の概要

- 1 市内道路の現況 1
- 2 計画の目的 1
- 3 路面別実延長 2

II 道路の点検計画及び舗装道路の現況

- 1 点検概要 2
- 2 点検計画 3
- 3 舗装道路の現況 3-7

III 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 1 管理道路のグループ分け 8
- 2 管理目標値 8
- 3 補修計画期間 8-9

IV 補修・修繕計画

- 1 補修・修繕方針 10
- 2 補修・修繕計画 10
- 3 修繕状況 11
- 4 事後評価と継続的な改善 11
- 5 補修・修繕計画の見直し 11
- 6 第2期奥州市道路整備計画路線一覧 11-15

I 道路の概況

1 市内道路の現況

奥州市は、岩手県内陸南部に位置し、北は北上市、西和賀町、金ケ崎町、花巻市、南は一関市、平泉町、東は遠野市、住田町、西は秋田県に接しています。総面積は993.35km²で、東西に約57km、南北に約37kmの広がりがあります。市の中央を一級河川・北上川が流れており、その西側には北上川の支流である胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっています。また、北上川の東側には、北上山地につながる田園地帯が広がり、その東端部には種山高原、阿原山高原が連なっています。

主要道路としては、東北自動車道（水沢インターチェンジ、奥州スマートインターチェンジ、平泉前沢インターチェンジ）、国道4号及び国道456号が南北に縦断し、国道397号及び国道343号が東西に横断しています。市域北東部には釜石自動車道の江刺田瀬インターチェンジが接続しており、主要地方道一関北上線等の県道を含め、地域や県境を越えた産業経済の交流を支える広域的な道路網を形成しています。現在、国道4号水沢東バイパスの整備が進められており新たな交通網が形成されています。

また、主要病院に接続する緊急輸送道路や消防本部に接続する救急搬送路、工場団地へのアクセス道路として重要物流道路が指定されています。

市道はこれらの広域道路網と高速道路網に接続し、安全で快適な生活に欠かせない道路として令和3年4月現在、4,542路線、約2,895kmを市道認定しております。（独立専用自転車歩行者道路を除く。）

2 計画の目的

奥州市の市道においては、毎年舗装の新設が行われていますが、建設後数十年経過している路線が多く、今後も損傷が進行することが予想されます。それに伴い、道路交通網の機能不全による社会生活への影響や道路損傷が原因とされる自動車損傷事故の発生が懸念されるため、計画的な補修が必要となっています。

そのため、管理目標値を定め計画的に補修を行い緊急車両や一般車両の快適な交通を確保し、修繕費用を平準化することを目的とします。

また、令和4年3月に策定した第2期奥州市道路整備計画においては、平成28年10月に国土交通省が策定した「舗装点検要領」に準じて評価し、大型車両の交通量などの道路特性を考慮した上で、優先順位を付して計画的に補修・修繕するものです。

3 路面別実延長

奥州市の管理する道路は令和3年4月現在、延長は2,895 km、うち舗装延長は1,743 kmで舗装率は60.2%となっています。

表－1 道路管理延長及び舗装延長 (m)

路線種別	実延長	舗装道			未舗装道			舗装済計		舗装率	
		セメント系	アスファルト		軽舗装	防じん	砂利道	セメント系・高級・簡易	軽・防じん含む	セメント系・高級・簡易	軽・防じん含む
			高級	簡易							
1級	286,719	891	139,585	121,398	14,865	2,562	7,418	261,874	(279,301)	91.3%	(97.4%)
2級	332,105	1,885	107,670	163,969	26,085	10,766	21,730	273,524	(310,375)	82.4%	(93.5%)
その他	2,275,916	11,539	191,496	1,004,567	195,508	150,365	722,441	1,207,602	(1,553,475)	53.1%	(68.3%)
合計	2,894,740	14,315	438,751	1,289,934	236,458	163,693	751,589	1,743,000	(2,143,151)	60.2%	(74.0%)

II 道路の点検計画及び舗装道路の現況

1 点検概要

計画的に補修・修繕する上で点検により、ひび割れ等の損傷を的確に把握することが重要となります。道路の重要度や損傷の速度を考慮して計画的に点検を実施していきます。

表－2 舗装の点検概要

点検種別	頻度	点検方法
日常点検	日常的	市職員による日常点検や道路パトロール委託による路面性状の点検。
詳細点検	適時	路面調査を行うことのできる特殊車両を用いてひび割れ、わだち掘れ、平坦性（IRI）を測定し、舗装路面の損傷状態を客観的な指標で把握する。
詳細調査 修繕設計	適時	特に損傷の激しい箇所の舗装内部の健全性を舗装のたわみを測定するFWD試験 ^{※1} を実施し、修繕方法の選定を行う。

※1：FWD試験（舗装構造評価装置）

舗装の上に載下板を設置してその直上からおもりを落下させることによりアスファルト面に49 kN（約5 t）の荷重を与えその時に生じる路面のたわみを複数のセンサーで測定します。支持力の有無、路床の推定CBR、残存TA等を測定する非破壊試験。

2 点検計画

日常点検は全路線の点検を実施していますが、詳細点検については全路線を対象とすることは困難であることから、主に地域と地域を結ぶ幹線道路を対象に点検していきます。また、2車線道路や幹線道路のうち緊急輸送道路^{*1}や救急搬送路^{*2}に指定されている路線や、工業団地内の道路、産業や農産物の物流道路については特に優先順位をあげて点検を実施します。

※1：災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路。

※2：救急指定病院（胆沢病院、江刺病院、水沢病院）へ搬送する際に利用する地域の幹線道路。

3 舗装道路の状況

1) 路面性状評価項目

表－3 ひび割れ率

診断区分	損傷レベル	ひび割れ率	損傷状況
I	小	0～20%程度	両わだちに線状ひび割れ発生程度。
II	中	20～40%程度	上記に加え、面状もしくは亀甲状に発生。
III	大	40%程度以上	両わだちに亀甲状に発生。

表－4 わだち掘れ量

診断区分	損傷レベル	わだち掘れ量	損傷状況
I	小	0～20mm程度	雨天走行時に水しぶきが上がる程度。
II	中	20～40mm程度	雨天走行時に水はねが上がる。
III	大	40mm程度以上	大きく水はねし、ハンドル制御が困難。

表－5 平坦性（IRI）：走行性を示す指標

診断区分	損傷レベル	わだち掘れ量	損傷状況
I	小	0～3mm/m程度	新設時と同等。
II	中	3～8mm/m程度	高速で走行すると、振動や揺れを感じる。
III	大	8mm/m程度以上	50km/hで強く揺れを感じる。

維持管理指数(MCI)

ひび割れ率、わだち掘れ量及び平坦性を式1~4に代入し求められる。算出された4つのMCI値のうち、最も小さい値をその区間のMCIとし、維持修繕基準を判断する。

$$MCI = 10 - 1.48C^{0.3} - 0.29D^{0.7} - 0.47\sigma^{0.2} \quad \dots \dots \dots \text{式1}$$

$$MCI0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7} \quad \dots \dots \dots \text{式2}$$

$$MCI1 = 10 - 2.23C^{0.3} \quad \dots \dots \dots \text{式3}$$

$$MCI2 = 10 - 0.54D^{0.7} \quad \dots \dots \dots \text{式4}$$

MCI : 3特性(ひび割れ率・わだち掘れ量・平坦性)による維持管理指数

MCI0 : 2特性(ひび割れ率・わだち掘れ量)による維持管理指数

MCI1 : ひび割れ率により求めた維持管理指数

MCI2 : わだち掘れ量により求めた維持管理指数

C : ひび割れ率 (%)

D : わだち掘れ量 (mm)

σ : 平坦性 (mm)

表-6 MCIと維持管理指標

MCI	維持修繕基準
5以上	望ましい管理水準
5未満	修繕が必要である
3以下	早急に修繕が必要

出典：国土交通省道路局「舗装点検要領平成28年10月」

出典：昭和55年 第34回 建設省道路局国道一課、建設省土木研究所舗装の維持修繕の計画に関する調査研究

2) 点検結果

奥州市が管理する市道の舗装延長1,743 k mのうち平成25年度に154 k m（49路線）、平成28年度に142 k m（42路線）、令和元年度に223 k m（70路線）の路面性状調査を行っており、その結果を図-1に示します。

維持管理指数であるMCI 3以下となる路線（早急に修繕が必要）についてはひび割れ率が支配的な指数となっており、ひび割れ率がおおむね30%を超えるとMCI 4以下となる傾向にあります。

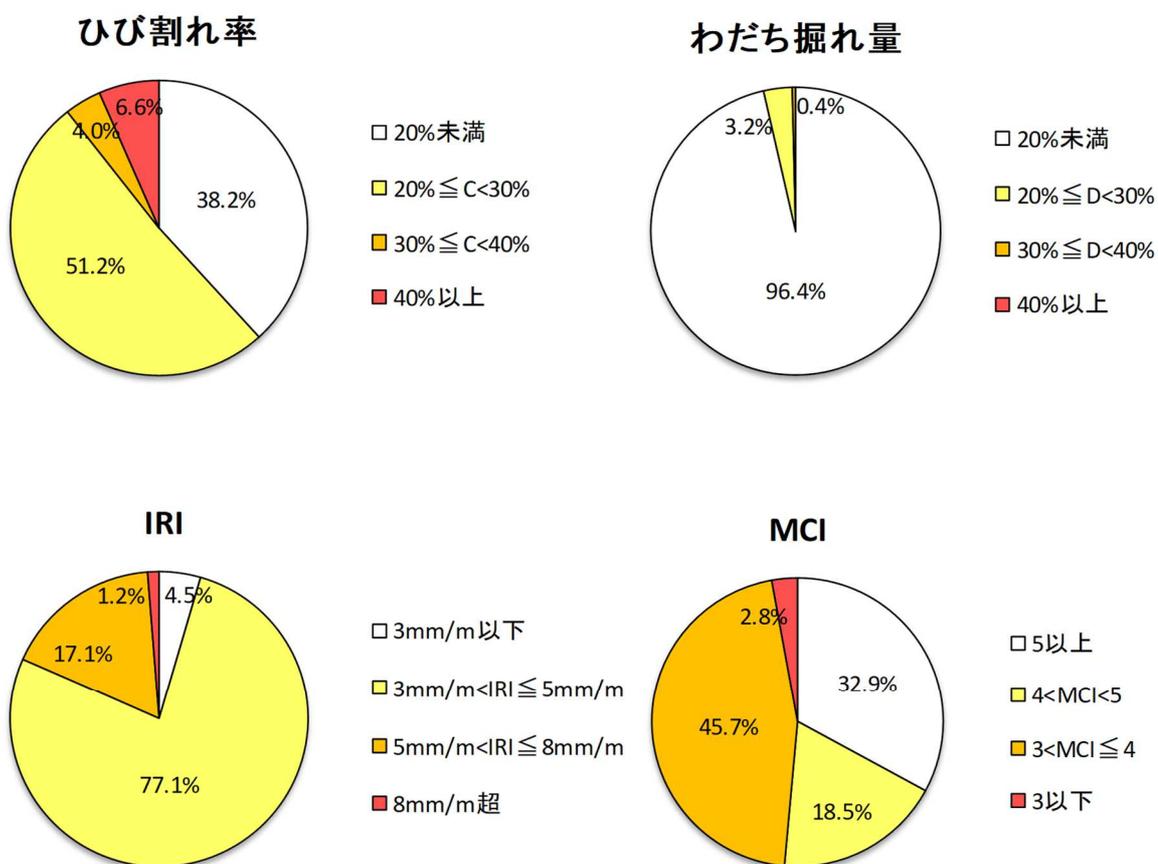


図-1 平成25年度及び平成28年度、令和元年度における路面性状調査結果

表-7 平成25年度及び平成28年度、令和元年度における路線毎の
路面性状調査結果(その1)

番号	路線名称	車線	区間長 (m)	平均値				実施年度
				ひび割れ率 (%)	わだち掘れ量 (mm)	IRI (mm/m)	MCI値	
1	瀬台野高根線・水ノ口線	2	4,685	23.4	25.2	6.1	3.4	H25
2	大鐘中崎線	2	2,150	18.3	17.5	7.9	4.3	H25
3	大手通り線	2	1,225	10.1	8.5	4.1	5.5	H25
4	西町下笹森線	2	1,930	12.1	8.2	5.0	5.4	H25
5	西町堰合線	2	1,105	15.4	11.9	7.3	4.9	H25
6	高網五千刈線	2	914	18.7	13.3	7.8	4.5	H25
7	水高通り線	2	750	20.1	6.8	6.2	4.6	H25
8-1	鉦町石田線①	2	480	34.6	6.0	6.6	3.6	H25
8-2	鉦町石田線②	2	720	27.0	11.0	7.0	4.2	H25
9	西光田大明神1号線	2	210	26.8	11.8	8.8	4.1	H25
10	西開田梶屋敷線	3	65	17.7	19.8	9.7	4.0	H25
11	川尻本線	2	1,490	23.5	8.2	5.5	4.5	H25
12	台町阿久戸上島線	2	525	28.5	8.5	6.8	4.1	H25
13	南八日市新地野線	4	1,485	13.8	14.7	3.8	4.8	H25
14	高畑佐野線	2	1,735	29.4	19.4	7.5	3.6	H25
15-1	中野苗代沢線①	2	900	28.7	19.0	5.3	3.6	H25
15-2	中野苗代沢線②	2	1,961	23.6	13.8	3.7	4.1	H25, H28
16-1	玉里広瀬線①	2	2,200	31.0	21.9	6.8	3.4	H25
16-2	玉里広瀬線②	2	1,922	29.8	8.5	3.4	4.1	H25, H28
17	横道線	2	2,160	49.2	15.4	8.8	2.8	H25
18	野中前新山前線・古館線	2	1,690	32.5	20.6	8.2	3.3	H25
19	成岡田線	1	1,625	56.5	21.5	6.7	2.3	H25
20	徳沢増味2号線	2	915	34.7	15.9	5.3	3.5	H25
21	石神本巻線	1	440	21.4	13.6	6.4	4.4	H25
22	中屋敷大森線	1	1,255	52.0	32.3	6.2	1.7	H25
23	中町大鐘線	1	435	13.7	8.0	6.6	5.2	H25
24	雷神中道線	2	624	15.3	9.3	4.6	5.1	H28
25	松堂八幡線	2	862	9.7	4.7	4.3	6.0	H25, H28
26	山居折居町線	2	2,982	25.7	10.0	2.8	4.7	H28
27-1	中野線①	2	760	41.8	10.8	4.1	3.5	H28
27-2	中野線②	2	1,128	12.3	11.1	4.2	5.1	H28
28	東大通り中田町線	2	506	12.4	7.8	5.3	5.3	H28
29	東中通り町屋敷2号線	2	971	24.5	9.5	5.6	4.4	H28
30	大町石田線	2	1,104	16.6	7.0	5.3	4.9	H25, H28
31	柿ノ木下南塩加羅線	2	1,554	13.5	7.2	2.4	5.3	H28
32	中町多賀線	2	1,005	18.4	9.4	4.3	4.8	H28
33	広岡葛ノ木線	1	415	2.7	20.9	3.3	5.1	H28
34	中町小境線	2	332	12.0	8.4	7.1	5.2	H28
35	力石島線	2	662	19.9	7.7	5.0	4.7	H28
36	白岩第2線	2	3,576	54.6	7.6	4.4	3.0	H28
37	菅生大谷地線	1	3,533	24.3	3.2	3.6	4.9	H28
38-1	根岸栄町線①	2	707	9.1	6.5	6.0	5.6	H28
38-2	根岸栄町線②	2	283	26.0	9.2	6.1	3.9	H28
39-1	下川原別当線①	1	266	29.4	7.8	6.1	4.2	H28
39-2	下川原別当線②	1	316	36.6	7.4	6.2	3.5	H28
40	田谷線	1	576	6.9	11.2	6.8	5.3	H28
41	橋本前中野線	2	882	29.7	13.0	3.5	3.6	H28
42	五十人町4号線	2	55	51.3	7.1	5.8	2.9	H25, H28
43	二十人町北久保線	2	886	30.0	8.8	4.7	4.0	H25, H28
44	下十文字長泥2号線	2	1,371	30.7	11.2	3.5	3.9	H25, H28
45	下萱刈窪鶴田線	2	118,709	29.9	10.9	3.3	4.0	H28
46	下大畑平前四ツ屋線	2	2,140	56.3	8.3	3.7	3.0	H25, H28
47	中荻森新田線	2	6,447	18.4	10.2	3.8	4.8	H28
48	森小新田線	2	696	31.9	6.2	3.7	4.2	H28
49	宇南田上中谷地線	2	3,466	23.6	10.5	3.8	4.3	H28
50	中油地後四ツ屋線	2	1,070	32.1	7.7	4.2	4.6	H28
51	徳沢増味1号線	1	396	24.8	8.8	7.0	4.9	H28
52	古戸2号線	1	219	22.5	5.2	5.9	4.4	H28
53	西開田明神堂川原線	2	3,761	7.9	9.2	3.3	6.2	H28
54	北町峠線	2	4,740	17.7	8.7	2.9	5.4	H28
55	高緑相馬檀線	2	3,543	9.9	8.5	3.4	6.0	H28
56-1	下川原力石線①	2	129	44.6	8.6	5.1	3.5	H28
56-2	下川原力石線②	2	1,190	39.3	8.9	2.9	3.4	R1
57	福養線	2	1,443	28.0	10.5	3.8	3.2	R1
58	役場通線	2	1,138	10.9	6.8	4.7	5.6	R1
59	古館線	1	1,210	30.8	5.6	5.9	4.3	R1
60	駅東中央線	2	401	22.6	5.6	3.1	4.4	R1
61	舞鶴線	2	465	17.6	8.2	4.3	4.7	R1
62	徳沢工業団地線	2	1,953	8.8	7.3	3.7	5.7	R1
63	前沢中央線	2	1,143	3.0	5.0	3.5	7.0	R1

表-7 平成25年度及び平成28年度、令和元年度における路線毎の
路面性状調査結果（その2）

番号	路線名称	車線	区間長 (m)	平均値				実施年度
				ひび割れ率 (%)	わだちぬれ量 (mm)	IRI (mm/m)	MCI値	
64	真城堂田上ノ台下線	1	3,306	12.6	5.3	4.8	5.7	R1
65	上中沢萩屋敷線	2	5,790	45.4	4.2	4.0	3.3	R1
66	明神川原北台線	2	1,601	10.6	9.5	4.8	5.2	R1
67-1	上大谷地川北線①	2	1,619	6.2	7.6	2.7	6.0	R1
67-2	上大谷地川北線②	2	2,617	6.9	7.8	3.3	5.8	H25, H28, R1
68-1	駒堂館線①	2	1,906	44.5	12.8	5.9	3.0	R1
69-2	駒堂館線②	2	1,390	25.9	7.9	5.5	4.1	R1
70	上土橋上中沢線	2	1,518	20.9	6.4	4.6	4.8	R1
71	愛宕堀通線	2	4,228	23.7	5.6	5.3	4.7	R1
72	愛宕宮沢原線	2	276	11.6	7.7	7.2	5.1	R1
73	猪川木揚場下川原線	2	718	8.0	6.6	4.7	6.1	R1
74	附野下笹森線	2	854	11.5	3.5	2.9	5.7	R1
75	藤里口内線	2	12,303	8.9	3.7	3.5	6.0	H25, R1
76	耳取三ノ関線	2	2,982	20.8	7.8	3.4	4.5	R1
77	二本木小境線	2	515	29.6	4.9	5.2	4.0	R1
78	南八日市新地野線	2	2,100	7.0	11.5	4.6	5.3	H25, R1
79	大名野線	1	454	30.8	10.0	5.9	3.7	R1
80	大文字線	1	974	23.1	9.3	5.6	4.2	R1
81	下台別当線	1	1,690	22.8	2.1	5.0	4.9	R1
82	沼館葛ノ木線	2	1,767	48.5	10.6	5.2	2.9	R1
83	板谷線	2	1,286	14.9	13.0	4.2	4.7	R1
84	見分森線	2	2,660	9.6	3.9	3.0	6.0	H25, R1
85	十文字秋成線	4	5,078	6.2	9.6	3.7	5.8	H25, H28, R1
86	秋成本線	2	1,480	14.3	4.8	5.0	5.2	R1
87	羽田幹線	2	919	16.3	9.0	4.8	5.4	R1
88	北上野福原線	2	1,678	9.1	5.4	3.4	5.7	R1
89	不断町八反町線	2	760	7.2	9.3	4.3	5.5	R1
90	里鐘沖ノ目線	2	1,058	9.4	9.0	5.0	5.2	H28, R1
91-1	白井坂線①	2	536	25.1	11.2	6.1	4.0	R1
91-2	白井坂線②	2	815	3.9	11.4	4.9	5.8	R1
92	慶徳杉ノ堂線	2	1,103	8.5	10.0	4.4	5.4	R1
93	熊ノ堂町屋敷線	2	1,148	12.4	5.3	4.5	6.2	R1
94	高速側道西4号線	1	4,045	10.0	5.4	4.6	5.9	R1
95	東上野町天文台通り線	2	792	33.3	8.3	7.4	3.6	R1
96	高速側道東3号線他	2	5,595	13.3	6.3	5.4	5.5	R1
97	明神堂中半入川原線	2	495	26.0	9.6	6.6	3.9	R1
98	明神堂線	2	374	38.3	11.7	5.7	3.2	R1
99	マイアネタウン31号線	2	419	19.7	4.4	5.3	4.6	R1
100	上立沢線	2	1,236	20.4	6.6	4.2	4.6	R1
101	長根1号線	2	1,079	24.3	4.4	3.3	4.2	R1
102	太郎ヶ沢線	2	2,103	4.8	5.0	4.5	6.8	H28, R1
103	北館外ヶ沢線	2	835	11.1	7.0	4.3	5.3	R1
104	姉体線	2	1,104	21.1	8.6	5.8	4.5	H28, R1
105	大林寺坂線	2	1,526	8.3	6.6	4.9	5.8	R1
106	本杉水神野線	2	2,374	3.4	6.1	3.2	6.7	R1
107	下北上野前沢赤坂線	2	5,215	6.3	6.6	4.7	6.1	R1
108	高畑赤面線	2	1,563	5.4	10.9	3.1	5.9	R1
109	生白1号線	1	1,340	13.9	7.4	5.4	5.1	R1
110	上萱刈窪上萩森線	2	566	38.5	12.3	4.6	3.3	R1
111	横沢原中萩森線	2	684	52.2	12.2	4.5	2.6	R1
112	中萩森上萩森2号線	2	812	16.8	3.0	2.9	5.0	R1
113	五松林上戸線	1	932	24.1	7.9	6.2	4.2	R1
114	銭倉北峠線	2	1,196	22.0	8.5	3.5	4.4	R1
115	上伊手線	1	5,604	9.6	5.3	3.3	5.9	R1
116	中田線	2	917	15.0	6.8	4.2	5.0	R1
117-1	北下巾線①	2	400	9.9	11.1	3.8	5.2	H28
117-2	北下巾線②	2	828	11.7	5.9	4.1	5.3	H25, R1
118	水沢競馬場線	2	773	3.1	5.1	3.9	6.8	R1
119	大町杉ノ堂線	2	1,805	12.2	5.8	5.7	5.4	H25, R1
120	南上野桜屋敷線	2	2,055	4.2	5.5	3.7	6.6	H25, R1
121	仙人神明町線	2	2,111	3.2	5.7	3.2	7.0	H25, H28, R1
122	東大通り1号線	2	617	25.4	7.6	4.2	4.3	H25, R1
123	衣川橋六道線	2	369	1.7	3.4	2.4	7.5	H25, R1
124	大西岩の上線	2	1,160	5.6	7.0	4.1	6.2	H25, R1
路線全体			332,640	20.9	9.2	4.9	4.7	

Ⅲ 舗装の維持管理の基本的な考え方

1 管理道路のグループ分け

表－8 管理道路のグループ分け

車線数	対象路線	利用状況	優先順位
2車線	市道全て	緊急輸送道路 救急搬送路 重要物流道路	1
	市道（1級・2級）	生活道路	2
	市道（その他）		3
1車線 ^{※1}	市道（1級・2級）		4
	市道（その他）		5
1車線 （内幅員 3.0m未満）	市道（その他）		6

※1：2車線道路より交通量が多い等の利用状況によっては優先順位が前後する。

2 管理目標値

管理目標値は4つの指標を用いるものとし、下記を修繕の目安とします。
 なお、緊急輸送道路や救急搬送路、重要物流道路については、人命や物品への影響を鑑みて走行性の指標となる平坦性については5mm/m以下を目標とします。

表－9 管理目標値

ひび割れ率	わだち掘れ量	平坦性（IRI）	MCI
40%以上	40mm以上	8mm/m以下	3以下

3 補修計画期間

ライフサイクルコストの低減、建設コストの平準化を図るためひび割れ率に着目し管理目標値の40%になる前に補修を行う期間を設定します。国土交通省出典の大型車の交通量別のひび割れ率に関する標準的な劣化曲線を次頁に示します。交通量が多くなると損傷進行が早まり、交通量が少なくなると損傷進行が緩やかになっています。劣化曲線は同一の交通量でも舗装構成や地域特性などに影響をうけることから、本市では、大型車の混入が見込まれない生活道路については、改良道路と未改良道路に2分しました。検証した結果、改良道路は100台未満と未改良道路は250台未満と相関性があったことから、改良道路については約40年、未改良道路は約30年を補修期間として設定します。

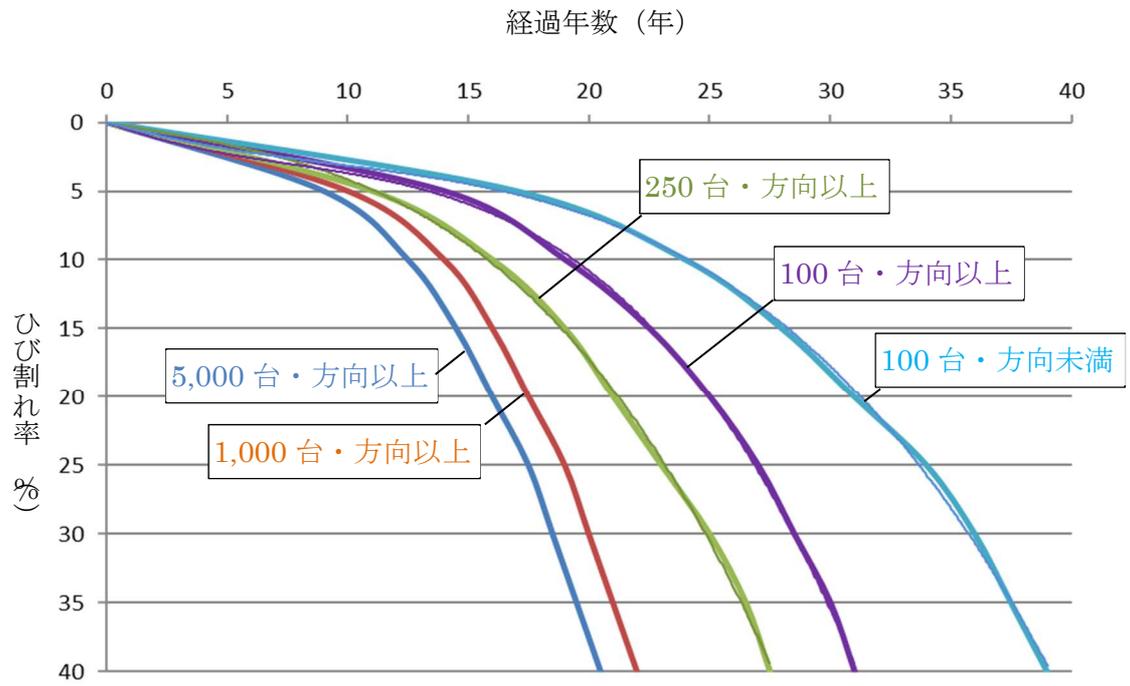


図-2 劣化曲線 (交通量別)
出典：国土交通省

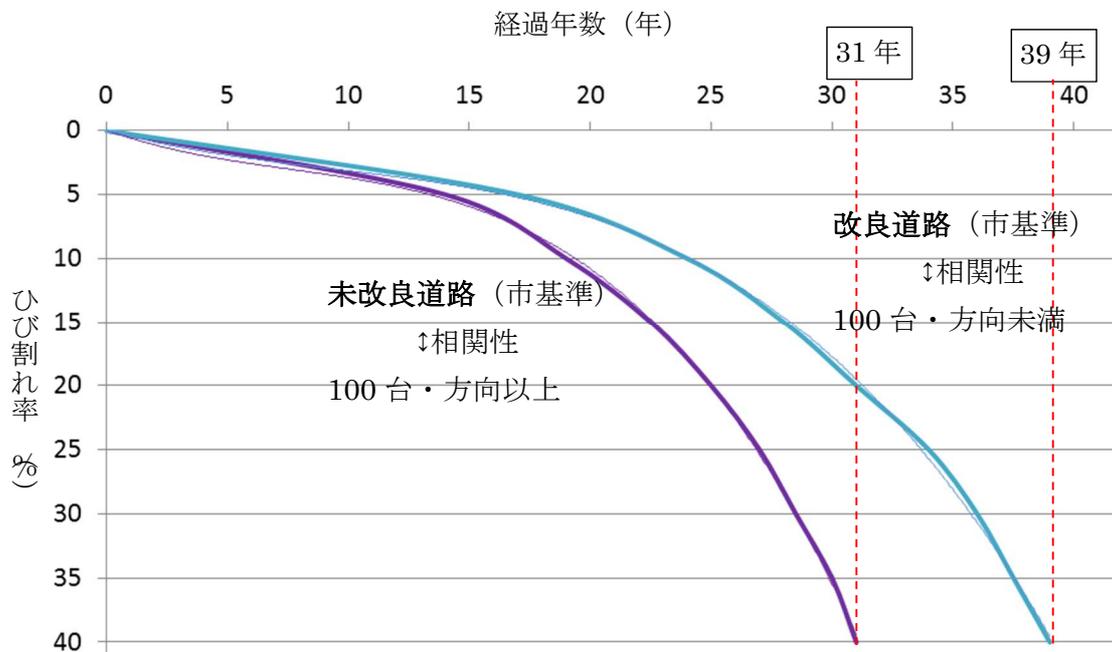


図-3 劣化曲線
出典：国土交通省

IV 補修・修繕計画

1 補修・修繕方針

調査結果による評価及び優先順位により計画的に舗装補修・修繕を実施します。

2 補修・修繕計画

国土交通省道路局「舗装点検要領平成 28 年 10 月」に準拠した 4 頁の路面性状の診断区分毎に表-10 に示す工法で補修・修繕を実施します。

表-10 アスファルト舗装の診断区分と工法

診断区分	工法
区分Ⅰ：健全	—
区分Ⅱ：表層機能 保持段階	シート材注入工法、オーバーレイ工法、パッチング
区分Ⅲ-1：表層 等修繕	切削オーバーレイ、表層打換え
区分Ⅲ-2：路盤 打換え ^{※1}	路盤を含めた舗装打換え工法、路盤の強化（セメント安定処理等）

※1：維持管理指数で MCI が 3 以下となっている路線については、詳細設計や修繕設計を行い修繕工法の検討を実施します。

また、管理道路のグループ分けを行い利用状況や交通量などにより優先順位をつけて詳細調査を実施し、調査結果に基づき修繕設計を行います。

なお、路面性状調査を実施していない路線や修繕予定路線となっていない路線においても、日常点検により安全安心な通行への阻害が懸念されると判断された路線に関しては、適時補修履歴や路面の損傷状況を確認し修繕設計を行い、計画的な修繕を実施します。

3 修繕状況

平成 25 年度から令和元年度までの路面性状調査結果により MCI が 3 以下となっている路線における修繕状況を表-11 に示します。修繕を行う必要がある路線数は 7 路線であり、延長が 9,452m に対して、修繕を行った路線数が 4 路線、延長が 6,080m であることから、修繕を行った路線の割合は 64.3%を占めています。

表－11 路線毎の路面性状調査結果と修繕状況

番号	路線名称	車線	区間長 (m)	平均値				実施年度	修繕		
				ひび割れ率 (%)	わだち補れ量 (mm)	IRI (mm/m)	MCI値		延長	施工年度	修繕工法
1(17)	横道線	2	2,160	49.2	15.4	8.8	2.8	H25	1,990	H26.2	表層打換え工法
2(19)	成岡田線	1	1,625	56.5	21.5	6.7	2.3	H25	2,580	H26.3, H28.12	表層打換え工法 切削オーバーレイ工法
3(22)	中屋敷大森線	1	1,255	52.0	32.3	6.2	1.7	H25			
4(42)	五十人町4号線	2	55	51.3	7.1	5.8	2.9	H25, H28	126	H29.3	表層打換え工法
5(68-1)	駒堂館線①	2	1,906	44.5	12.8	5.9	3.0	R1			
6(82)	沼館萬ノ木線	2	1,767	48.5	10.6	5.2	2.9	R1	1,384	R2.10, R3.8	表層打換え工法
7(111)	横沢原中萩森線	2	684	52.2	12.2	4.5	2.6	R1			
路線全体			9,452	50.6	16.0	6.2	2.6		6,080		

※番号の () 内の数字は表－7の番号と一致している。また、修繕内容として、表－10における区分Ⅲ－1及び区分Ⅲ－2に該当するもののみを抽出しているため、オーバーレイやパッチング等の局部的な補修を行っている箇所は含まれていない。

4 事後評価と継続的な改善

舗装維持管理計画を基に補修・修繕を実施した路線に関しては補修計画期間が適切に機能しているか、舗装の長寿命化が図れているかを確認していく必要があります。そこで、補修した路線の代表箇所において補修後の補修履歴や、継続的な点検を実施し損傷の進行を把握することで補修計画期間の見直しを行っていきます。

補修した箇所において、補修計画期間より大幅に短い期間に路面損傷が見られた場合には原因を調査し、対策を検討します。

事後評価を行い、効果が認められた工法については、交通量などの同様な供用条件下にある区間には積極的に採用し、反対に効果が十分に発揮されなかった場合には、その原因について検証し、採用工法の見直しを行います。

5 補修・修繕計画の見直し

補修・修繕計画については、事後評価を踏まえ、予算状況、利用形態の変化等を考慮し、補修・修繕箇所の優先順位の見直しを5年に一度を目途に行います。また、急激に損傷が進行するなど緊急性の高い路線が発生した場合には、優先的に補修・修繕を実施します。

6 第2期奥州市道路整備計画路線一覧

令和4年から令和8年の5年間の計画期間である第2期奥州市道路整備計画で実施する事業毎の路線一覧を表－12に示します。なお、工種に舗装改修・舗裝修繕と記載のある路線が修繕計画対象となります。

表-12 第2期奥州市道路整備計画路線一覧（交付金事業）

整備順位	位置図番号	路線名	施行箇所		工種	事業概要	地区要望	備考
			地域	地区名				
前 優 計 画 先 よ り 整 備 （ 継 続 ）	1	瀬台野高根線	水沢	真城	歩道整備		○	前計画着手済み
	2	藤里口内線	江刺	玉里	歩道整備	L=1,129m	○	前計画着手済み
	3	池田住宅線	衣川	衣里	歩道整備	L=38m	○	前計画着手済み
	4	桜木橋大通線	江刺	愛宕	歩道改修	L=1,170m	○	前計画着手済み
	5	松堂八幡線	水沢	佐倉河	用地測量	1式	○	前計画着手済み
	6	秋葉町前田線	水沢	常盤	道路改築	L=120m		前計画着手済み
	7	大町杉ノ堂線	水沢	常盤	舗装・側溝改修	L=200m	○	前計画未着手分
	8	道場下沢田線	胆沢	小山	歩道整備	L=2,000m	○	前計画未着手分
	9	下川原力石線	江刺	愛宕	歩道整備	L=660m	○	前計画未着手分
	10	高縁相馬壇線	胆沢	小山	歩道整備	L=1,400m	○	前計画未着手分
	11	大面線	衣川	衣里	歩道整備	L=260m	○	前計画未着手分
	12	東大通り1号線	水沢	常盤	舗装改修	L=350m		前計画未着手分
	13	道場外浦線	胆沢	小山	道路改築	L=950m	○	前計画未着手分
1	14	南丑軒下十文字線	胆沢	小山	舗装改修	L=1,480m		新規
2	15	下大畑平前四ツ屋線	胆沢	小山	舗装改修	L=1,400m		新規
3	16	兵士沢線	水沢	黒石	舗装改修	L=1,200m	○	新規
4	17	古館・水ノ口線	前沢	白山	道路改築	L=900m	○	新規
5	18	力石島線	江刺	愛宕	歩道整備	L=600m	○	新規
6	19	上伊手線	江刺	伊手	改良	L=100m	○	新規
7	20	藤里口内線	江刺	藤里	歩道整備	L=1,550m	○	新規
8	21	若柳線	前沢	前沢	歩道整備	L=500m	○	新規
9	22	下台別当線	江刺	稲瀬	歩道整備	L=740m	○	新規
10	23	白岩第2線	江刺	藤里	舗装改修	L=1,030m		新規
11	24	藤里口内線	江刺	藤里	舗装改修	L=780m		新規
12	25	中萩森新田線	胆沢	小山	舗装改修	L=650m		新規
13	26	上中沢萩屋敷線	胆沢	小山	歩道整備	L=600m	○	新規
14	27	明土阿部館線	前沢	白山	歩道整備	L=2,300m	○	新規
15	28	北天間沼の上線	江刺	愛宕	歩道整備	L=1,400m	○	新規
16	29	平前1号線	前沢	前沢	道路改築	L=430m	○	新規
17	30	中野線	水沢	真城	舗装改修	L=540m		継続
18	31	下萱刈窪鶴田線	胆沢	若柳	舗装改修	L=300m		継続
19	32	山居折居町線	水沢	真城	舗装改修	L=200m		継続
20	33	真城堂田上ノ台下線	前沢	古城	道路改築	L=3,300m	○	新規
21	34	北鶴ノ木西田線	水沢	羽田	道路改築	L=700m	○	新規
22	35	耳取三ノ関線	江刺	岩谷堂	舗装改修	L=300m		新規
23	36	路面性状調査	市内	全域	調査			継続

表-12 第2期奥州市道路整備計画路線一覧（起債事業その1）

整備順位	位置図番号	路線名	施行箇所		工種	事業概要	地区要望	備考
			区域名	地区名				
前 計 画 先 よ り 整 備 （ 継 続 ）	37	堰根濁川線	胆沢区	南都田	改築	L=50m	○	前計画未着手分
	38	北大日線	江刺	田原	舗装新設	L=110m	○	前計画未着手分
	39	稻荷崎線	江刺区	玉里	舗装新設	L=360m	○	前計画未着手分
	40	畑中線	江刺区	玉里	舗装新設	L=460m	○	前計画未着手分
	41	簾森10号線	前沢	前沢	側溝改修	L=250m	○	前計画未着手分
	42	石原線	江刺	田原	道路改築	L=170m	○	前計画未着手分
	43	太郎ヶ沢線	前沢	前沢	局部改良	L=80m	○	前計画未着手分
	44	東大通り2号線	水沢区	常盤	舗装修繕	L=430m	○	前計画未着手分
	45	上田中卯台線	胆沢区	若柳	舗装改修	L=300m	○	前計画未着手分
1	46	山本線	江刺	米里	舗装新設	L=260m	○	新規
2	47	塚2号線	水沢	真城	現道拡幅	L=280m	○	新規
3	48	上ノ台・上ノ台下線	前沢	古城	舗装新設	L=240m	○	新規
4	49	南白山宿線	水沢	姉体	舗装新設	L=900m	○	新規
5	50	町裏線	江刺	米里	現道拡幅	L=30m	○	新規
6	51	新田線	胆沢	小山	舗装新設	L=270m	○	新規
7	52	上大谷地川北線(嶺ノ手交差点)	胆沢	小山	道路改良	L=60m	○	新規
8	53	上白鳥川4号線	胆沢	小山	舗装新設	L=160m	○	新規
9	54	宿ノ前館八反町線	前沢	古城	舗装新設	L=200m	○	新規
10	55	十文字線他3路線	前沢	古城	舗装新設	L=640m	○	新規
11	56	大壇5号線	水沢	真城	現道拡幅	L=250m	○	新規
12	57	山下北線	江刺	稲瀬	舗装修繕	L=640m	○	新規
13	58	陳馬地線	江刺	梁川	舗装修繕	L=240m	○	新規
14	59	谷地前三沢線	前沢	生母	舗装修繕	L=1,280m		新規
15	60	高谷宿下玉ノ木線	水沢	水沢	舗装修繕	L=440m	○	新規
16	61	北田西田線	水沢	南	舗装修繕	L=310m	○	新規
17	62	竈堂道田線	水沢	佐倉河	舗装修繕	L=640m	○	新規
18	63	折居館線	水沢	真城	舗装修繕	L=620m		新規
19	64	駒堂館線	胆沢	南都田	舗装修繕	L=1,300m	○	新規
20	65	下惣田池向線	江刺	岩谷堂	舗装新設	L=160m	○	新規
21	66	杉ノ町滑線	江刺	岩谷堂	舗装新設	L=200m	○	新規
22	67	松ノ木線	前沢	前沢	現道拡幅	L=190m	○	新規
23	68	馬口沢横道線	前沢	古城	舗装新設	L=750m	○	新規
24	69	迎井沢白石沢線	江刺	藤里	現道拡幅	L=220m	○	新規
25	70	林後1号線	前沢	古城	舗装新設	L=200m	○	新規
26	71	真城ヶ丘4号線	水沢	真城	舗装新設	L=120m	○	新規
27	72	台小田切1号線	胆沢	小山	舗装新設	L=470m	○	新規
28	73	清水柳線	江刺	藤里	舗装新設	L=650m	○	新規
29	74	杉崎最中沢線	江刺	梁川	舗装新設	L=1,200m	○	新規
30	75	玉里広瀬線	江刺	広瀬	法面对策	L=200m	○	新規
31	76	迎畑天王谷起線	前沢	白山	舗装新設	L=400m	○	新規
32	77	沼尻線	江刺	稲瀬	舗装新設	L=330m	○	新規
33	78	柴山斎藤2号線	胆沢	小山	舗装修繕	L=360m	○	新規
34	79	反町前広田線	江刺	愛宕・田原	舗装修繕	L=1,120m		新規
35	80	柴山斎藤3号線	胆沢	小山	舗装修繕	L=219m	○	新規
36	81	佐野線	江刺	稲瀬	舗装修繕	L=1,120m		新規
37	82	高速側道西3号線	水沢	水沢・南	舗装修繕	L=1,440m		新規
38	83	大鐘中崎線	水沢	真城	舗装修繕	L=580m		新規
39	84	向畑芦ノ口線	江刺	藤里	舗装修繕	L=240m	○	新規
40	85	兎口上堰線	胆沢	愛宕	舗装修繕	L=500m	○	新規

表-12 第2期奥州市道路整備計画路線一覧（起債事業その2）

整備順位	位置図番号	路線名	施行箇所		工種	事業概要	地区要望	備考
			区域名	地区名				
41	86	下屋敷窪田線	水沢	羽田	舗装修繕	L=210m	○	新規
42	87	大幡線	江刺	梁川	舗装修繕	L=280m	○	新規
43	88	蒲道沢線	江刺	田原	舗装修繕	L=520m		新規
44	89	桑畑線	衣川	北股	舗装修繕	L=460m	○	新規
45	90	宝禄線	江刺	稲瀬	舗装新設	L=170m	○	新規
46	91	大鐘6号線	水沢	南	道路改築	L=50m	○	新規
47	92	台町朝日町線	水沢	常盤	現道拡幅	L=60m	○	新規
48	93	栄町横2号線	江刺	岩谷堂	現道拡幅	L=90m	○	新規
49	94	柳沢線	江刺	藤里	舗装新設	L=570m	○	新規
50	95	十日市線	水沢	佐倉河	舗装新設	L=300m	○	新規
51	96	清水洞線	江刺	梁川	舗装新設	L=430m	○	新規
52	97	二日市幕内線	江刺	藤里	舗装新設	L=250m	○	新規
53	98	古戸1号線	衣川	衣川	道路改築	L=80m	○	新規
54	99	岩明御堂線	江刺	伊手	舗装新設	L=1,250m	○	新規
55	100	滝田線	江刺	田原	舗装新設	L=600m	○	新規
56	101	竹洞田中線	江刺	藤里	舗装新設	L=430m	○	新規
57	102	上小屋枝線	江刺	藤里	舗装新設	L=300m	○	新規
58	103	柏木沢後田線 他	江刺	藤里	舗装新設	L=500m	○	新規
59	104	巽沢柏木沢線	江刺	藤里	舗装新設	L=800m	○	新規
60	105	折居駅うるし林線	水沢	真城	舗装新設	L=550m	○	新規
61	106	宿線	江刺	愛宕	舗装新設	L=400m	○	新規
62	107	台14号線 他	胆沢	小山	舗装新設	L=550m	○	新規
63	108	赤堰3号線	胆沢	小山	舗装新設	L=130m	○	新規
64	109	寺後線	江刺	広瀬	舗装新設	L=470m	○	新規
65	110	明神川原北台線	胆沢	小山	道路改築	L=1,400m	○	新規
66	111	山生田線	江刺	藤里	舗装新設	L=400m	○	新規
67	112	下梁川線	江刺	愛宕	舗装新設	L=170m	○	新規
68	113	五木田線	胆沢	南都田	現道拡幅	L=140m	○	新規
69	114	本宿4号線	水沢	姉体	舗装新設	L=310m	○	新規
70	115	迎畑橋本線	水沢	姉体	舗装新設	L=100m	○	新規
71	116	鞆戸五輪線	水沢	姉体	舗装新設	L=200m	○	新規
72	117	木工団地線	江刺	愛宕	舗装新設	L=320m	○	新規
73	118	大畑横懸線	江刺	田原	舗装新設	L=750m	○	新規
74	119	樋渡中央線	江刺	愛宕	舗装新設	L=530m	○	新規
75	120	下台八幡線	江刺	稲瀬	舗装新設	L=160m	○	新規
76	121	下大内沢3号線	江刺	米里	道路改築	L=150m	○	新規
77	122	姥屋敷野中前線	前沢	古城	舗装新設	L=400m	○	新規
78	123	台細入線	胆沢	小山	舗装新設	L=280m	○	新規
79	124	川内噌味線	衣川	南股	舗装修繕	L=200m		新規
80	125	佐野環状線	水沢	佐倉河	舗装修繕	L=700m		新規
81	126	本城寺坂徳沢線	前沢	前沢	舗装修繕	L=520m		新規
82	127	上油地後四ツ屋線	胆沢	小山	舗装修繕	L=300m		新規
83	128	上中沢萩屋敷線	胆沢	小山	舗装修繕	L=100m		新規
84	129	菅生砂子沢線	江刺	梁川	舗装修繕	L=240m		新規
85	130	簾森大袋古戸線	前沢	前沢	舗装修繕	L=580m		新規
86	131	高速側道東3号線	水沢	南・真城	舗装修繕	L=320m		新規
87	132	日除松4号線	前沢	前沢	舗装修繕	L=240m	○	新規
88	133	若柳広表南都田中線	胆沢	南都田	舗装修繕	L=1,500m		新規
89	134	南八日市新地野線	江刺	岩谷堂	舗装修繕	L=100m		新規
90	135	中野苗代沢線	江刺	岩谷堂	舗装修繕	L=50m		新規

表-12 第2期奥州市道路整備計画路線一覧（単独事業）

整備順位	位置図番号	路線名	施行箇所		工種	事業概要	地区要望	備考
			区域名	地区名				
1	136	五百刈田天神林線	水沢	姉体	舗装修繕	L=220m	○	新規
2	137	柏木沢枝線	江刺	藤里	舗装新設	L=430m	○	新規
3	138	上一の台3号線	胆沢	小山	舗装新設	L=320m	○	新規
4	139	外ノ沢枝線	江刺	藤里	舗装新設	L=490m	○	新規
5	140	柳沢下柳線	水沢	黒石	舗装修繕	L=260m	○	新規